

# イベントレポートの書き方ガイド

このレポート作成ガイドは、企業のメルマガやウェブサイト、CQIの専門誌 Quality World、IRCAのウェブサイトなど、さまざまな媒体に適した900字から1,200字のイベントレポートを作成するためのガイドです。

イベントについてレポートすることは、ご自身及びご自身の組織について他の人に理解してもらうために有用な方法です。また、クオリティの仕事を知ってもらい、クオリティプロフェッショナルの評判を高め、ベストプラクティスを共有するためにも役立ちます。

イベントを可能な限り効果的に紹介するために、以下のイベントレポートに関するヒント集をご利用ください。



## 文字数

イベントレポートの文字数は1200字を超えないようにしましょう。



## レポートの構成 (約1200字)

**導入部 (150 ~ 300 字):** レポートには、状況を説明する導入部が必要です。

- イベントは「どこで」、「いつ」行われたかを説明しましょう。
- 可能であれば、イベントに参加した人数も含めましょう。
- イベントを企画した理由と、どのような目的でイベントを開催したのかを説明しましょう。

**本文 (300 ~ 450 字):** ここでは、イベントの内容を述べます。

- イベントで何を学びましたか？
- イベントの構成を説明します。例えば、工場見学を行ったのであれば、何を見たのか、どのようなことをしたのかについて読者に説明します。
- 講演者が何をしゃべったのか、主な点を簡単に説明します。

**まとめ (300 ~ 600 字):** 最後に、イベントをやってよかった点を述べましょう。

- 実施したイベントを有用だったとする理由は？例を挙げてみましょう。
- 可能であれば、講演者、イベントを開催した組織や参加者からの言葉を引用しましょう。



## 想定する読者

どのような読者が想定されるかも考慮しなければなりません。想定する読者はクオリティのことをよく知っていますか？ご自身は技術的な知識をたくさんもってらっしゃると思いますが、組織全体に向けたメルマガの場合は、簡略なものにしたほうがいいのかもかもしれません。

経験豊かなクオリティの専門家、例えばQuality World の読者はビジネスプロセスや品質システムについて豊富な専門知識を持っています。例えば、リーン、シックスシグマ、ISO 9001やTQM などについての知識です。また、エンジニアリングについての知識を持っていることもあります。



## 文体

以下のような文体を目指しましょう：

- 機転が利いていて、オリジナルをめざし、使い古された言い回しは避けましょう
- 簡潔にしましょう。簡潔であるということは明快であるということです。文章は短く、だらだらとつなげずにポイントを突きましょ。
- 正確、真正、有益であり、権威があり、主体的であるように。読者の心をぐっと掴んで展開しましょう。
- よく知られた主題についても、オリジナルなアプローチや、オリジナルな切り口で、読者がほかでは見つけられないような新鮮な情報を提供しましょう。
- 可能な限り、例を示しましょう。議論している概念を生き生きと把握してもらうためには、できるだけ多くの実例を用いましょう。
- 主要なポイントには裏付けとなる証拠を示しましょう。意見は意見として示し、意見と事実が明確に識別できるようにしましょう。
- わかりやすい言葉を使いましょう。業界用語の多用は避けて、だれにでもわかるようにプロセスを描写するように努めましょう。

お書きになったレポートをQuality World やCQI IRCAのウェブサイト等で掲載することをご希望の場合は、下記までご連絡ください；



Email: [ircajapan@irca.org](mailto:ircajapan@irca.org)